



会社概要

会社名 : 株式会社ジザイエ
所在地 : 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル5F Inspired.Lab 569
代表者 : 代表取締役CEO 中川 純希
設立 : 2022年11月
事業内容 : リアルタイム遠隔就労支援プラットフォーム
『JIZAIPAD』の開発・運営および関連サービスの提供

はじめに

熱い想いを持ったスタートアップの方に自社事業の取り組みや、山口キャピタルとの出会い・連携事例などをお伺いしていくSTARTUP INTERVIEW。
第2回目は、リアルタイム遠隔就労支援プラットフォーム『JIZAIPAD』の開発・運営を行う株式会社ジザイエ代表取締役CEOの中川様にお話をお伺いしました！



<取材協力>

中川 純希（なかがわ じゅんき）
株式会社ジザイエ
代表取締役CEO



<インタビュアー>

山口 亮太（やまぐち りょうた）
山口キャピタル株式会社
代表取締役



山口：まず、事業内容としては、独自の映像圧縮伝送技術を用いて、全ての業界や職種で遠隔就労が実現可能となるリアルタイム遠隔就労支援プラットフォーム『JIZAIPAD』を提供されていると思いますが、事業を始められたきっかけは何かあったのでしょうか。

中川：数年前に体調を崩して入院していた時があったのですが、その時に感じたことが繋がっていますね。私自身はパソコンがあれば仕事ができるでしたが、同じように入院していた方々の中には手術後は動けないので仕事ができないという方が多くいました。私はその当時、自分の身体の一部のように機械やロボットを自在に操れる「自在化身体技術」にフォーカスを当てた研究をしている東京大学の稲見研究室に在籍していて、この技術を使って現場で働く方や障害を抱えた方などの社会参画に役立てないかなと考えたのがきっかけです。働くことは「生きるモチベーション」にも繋がりますし、そのような社会との関わり方ができればいいなと考えていました。

山口：ありがとうございます。働くことが「生きるモチベーション」になるというのは私もいつも感じているので、すごく共感しました。ご自身も大変な時期に、周囲の人の役に立てることを考えられていたことも本当に尊敬します！そんな思いで設立されて約2年が経過し、これまでに多くの投資家の方とお話しする機会があったと思いますが、中川さんが考える投資家に期待することや役割はございますか。

中川：私にとって、投資家の方は全ての情報にアプローチできている貴重な存在です。スタートアップ業界の全体感を汎用化・分析してアドバイスを頂けると嬉しいです。様々な業種があるので汎用化は難しいですが、toCでうまくいったことがtoBでうまくいくこともあるかもしれないですし、より多くの情報がほしいなと思います。悩んだ時の相談相手としても心強いですね。

山口：ありがとうございます。投資家として幅広い情報にアクセスして、事業成長に繋がる情報を共有できるように頑張ります！距離は離れていますが、小さなことでもご連絡お待ちしております。

中川さんとの関係は、1年程前に私からご連絡させていただいたことから始まりましたが、これまでの関わりの中でプラスに感じたことがあれば教えてください。

中川：山口さんからは、これまでに数社ご紹介をいただきました。

私は、事業は“ふとした瞬間”に出来上がることが多いと思っています、日頃から対話することを大切にしています。継続的に対話を行う中で、協業に繋がれば嬉しいですし、そのような会社といかに早く会うことができるかを重要視しているため、ご紹介は非常にありがたいです。紹介＝営業となってしまうこともあります。私達は将来的に一緒に事業を作っていく、お互いに付加価値を提供できるような関係性を目指しています。その点で、山口さんからこれまでにご紹介していただいた先とは、どの会社も継続的に話ができる関係性を維持できていて、その先に進むケースもあるので嬉しく思っています。

山口：ご紹介した企業はいずれも興味を持っておりましたので、良いご縁になればと思っています。貴社の技術は多くの地域事業者とコラボレーション出来る可能性があると感じているので、今後も良い出会いを生み出せるように頑張ります！



山口：今後、スタートアップ企業にとって有益な情報を共有するという点に関して、私個人としてだけでなくグループ全体で貢献していきたいと考えています。弊社と山口フィナンシャルグループに期待することや求めていることがあれば是非教えてください。

中川：1つは先程お話した、協業先をご紹介いただくことです。その先を見ると、エクイティだけではなくデット調達も視野に入ってくると考えています。時代の流れとともに、いかにダイレクションを抑えながらキャッシュポジションを良くしていくのかという考え方が主流になってきているので、銀行とスタートアップの付き合い方も今まで以上に密接になってくるのではないのでしょうか。その最初の窓口としてキャピタルの役割は大きいのかなと思っています。



山口：ありがとうございます。

地方銀行系VCとして、その役割を担っていることを常に心に留めてこれからも活動してまいります。最後に、今後の事業展開について想いをお伺いしたいです。

中川：現時点では大手企業との取引が多いので、まずはソリューションを固めていきたいと思っています。その後は、地場の会社が抱えている人手不足等の課題を解決できるようなソリューションを早めに作っていききたいです。自社だけでは完璧に解決できないこともあるので、他社と協業してソリューションを作ることも検討できればいいなと考えることもありますね。地場の会社の課題を解決することはすごくワクワクしますし、個人的にYMFGEエリアである山口県に祖父母がいるので、その周辺の会社の案件になると思い入れが強くなってしまいます(笑)

山口：ありがとうございます。

山口県での案件やイベント等があるときは是非現地でお会いしましょう！
この度はご協力いただきありがとうございました。